

# 事務事業マネジメントシート(令和5年度実績と令和6年度計画)

令和6年8月19日更新

事務事業名		老人憩の家維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連		<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連		<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合 計画 体系	政策	1 自治の健康				<input type="checkbox"/> 所属部 健康福祉部		<input type="checkbox"/> 課長名 坂井 晴代					
	施策	2 行政改革の推進				<input type="checkbox"/> 所属課 高齢者支援課		<input type="checkbox"/> 担当者名 木場田 可織					
	施策の柱	12 公有財産の管理運営				<input type="checkbox"/> 所属班 介護保険班		(内線) 1171					
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	根拠	合志市老人憩の家条例・同施行規則・同運営管理規程 指定管理協定書・					
終了、開始年度		一般	3	1	6	10437	法令						
事業期間		<input type="checkbox"/> 5年度で終了		<input type="checkbox"/> 5年度から開始		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 18 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

## ★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	○平成6年4月 高齢者の生きがいと福祉を高め、心身の健全と教養の向上及びレクリエーションのための施設として開館した。以来、入浴施設を中心とした高齢者の教養・娯楽施設として利用されている。 ○平成23年4月 入館（入浴）料金の市内150円を100円に引き下げた。※市外400円（据え置き） ○指定管理期間 第1期(平成18年9月～平成21年9月)、第2期(平成21年10月～平成24年3月)、第3期(平成24～28年度)、第4期(平成29～令和3年度)、第5期(令和4～8年度)
【業務の流れ】	【管理】 ○年度協定の締結（各年度の指定管理料額及び支払方法）、○モニタリングの実施（月次業務報告書、年次事業報告書、アンケート結果報告等を受けての管理運営状況確認）、○修繕費負担等の協議、○指定管理料の支払（四半期毎） 【指定】 ○管理方法・募集方法・指定期間の決定（政策推進本部会議一議会全協説明）、○指定管理者の募集（募集要項と仕様書の作成・配付、募集説明会、申請書審査）、○選定委員会の開催（選考審査、候補者決定）、○議会への提案、○指定管理者の指定、○指定管理基本協定の作成・締結
【主な予算費目】	委託料（指定管理料）、施設修繕負担金
【意見や要望】	・温泉設備等の老朽化に伴い、施設利用の在り方などの再検討について庁内から意見が上がっている。 ・利用者から「老人憩の家」の名称を変更したほうがよいのではないかとの意見があった。

## 1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分 6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	指定管理者に指定管理料を支払い、施設の設置目的に沿った管理運営に努める。
○指定管理者に指定管理料を支払い、効率的な管理運営に努めた。また、月次業務報告等により管理運営状況の確認を行い、利用者の重大な事故もなく、設置目的に沿った良好な運営ができた。	
○施設内の雨漏改修費用などを負担し、施設の適正な維持管理に努めた。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) →ア/指定管理料 イ:	予算の主な増減の理由 施設修繕見込みに伴う負担金の増  千円
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民(利用者)	②対象指標(対象の大きさを表す指標) →ア/利用者数 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 不都合なく安全に利用してもらう	③成果指標(意図の達成度を表す指標) →ア/施設・サービス等について満足と答えた割合 イ: % →イ:
*③成果指標設定の理由と6年度目標値設定の根拠 利用者アンケート(施設・サービス利用に対する満足度)の結果は、意図の達成度を表す指標として適している。 利用者に満足していただきたいと考え95%に設定した。	総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込
① 活動指標	ア/千円 イ:	12,930	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500
② 対象指標	ア/人 イ:	19,111	26,524	25,000	37,058	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
③ 成果指標	ア/% イ:	96.8	92.5	95	95.2	95	95	95	95	95	95
投 入 量	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円									
	(A) 事業費計	千円	16,898	20,391	17,499	17,316	23,000	17,500	17,500	20,000	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人 件 費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	2 480	2 490	2 200	3 265	2 200	2 200	2 200	2 250	
	(B)人件費計	千円	1,876	1,864	796	965	796	796	796	996	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	18,774	22,255	18,295	18,281	23,796	18,296	18,296	20,996	

事務事業名	老人憩の家維持管理事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

## 2 評価の部 (C H E C K)

\*原則は 5年度の事後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因 ↗】		
	② 6年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策 ↗】		
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由 ↗】		
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由 ↗】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由 ↗】		
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】		
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】		
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由 ↗】		
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由 ↗】		
市所有する老人のための施設であり、指定管理者制度による管理運営が行なわれており適正である。					

## 3 評価結果の総括 (C H E C K)

新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に位置づけられ、コロナ禍前と比較するとまだ少ないが利用者数は徐々に増加している。

8月に温泉設備の老朽化による修繕のため、臨時休館にて対応している。設備の不具合が年々増加していることから、計画的な修繕・改修を行っていく必要がある。

## 4 今後の方向性（事務事業担当課案）(A C T I O N)

### (1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善  
事業のやり方改善（効率性改善 事業のやり方改善（公平性改善  
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない

### (2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持	○	△
	低下	△	△

### (3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策